

## 平成28年度 エコ通勤の取組結果について

平成28年5月1日から9月30日までの期間で実施した「エコ通勤」について、取組期間の結果を以下のとおり取りまとめました。

### 1 取組状況

- (1) 取組対象者 6,117人  
(民間事業所及び官公庁(15事業所)と市役所各部局の合計)
- (2) 参加者(報告書提出数) 1,405人  
参加率(報告書提出率) 22.97%  
(民間事業所及び官公庁 30.17%, 市役所各部局 20.98%)
- (3) エコ通勤達成者 888人(期間中半分以上エコ通勤した人数)  
エコ通勤率 14.52%  
(民間事業所及び官公庁 22.85%, 市役所各部局 12.21%)

### 2 取組結果

- (1) ガソリン削減量 2,869.6 ℓ  
自動車の燃費を10km/ℓとして、エコ通勤実施前後のガソリン削減量を、概算で算出しました。
- (2) CO<sub>2</sub>削減量 6,654.204 kg-CO<sub>2</sub>  
ガソリン削減量を基にCO<sub>2</sub>排出係数を乗じて算出しました。

### 3 取組効果

平成28年度も多くの方にエコ通勤に参加していただきました。  
この取組によるCO<sub>2</sub>削減量は、日本人一人当たりの一日のCO<sub>2</sub>排出量が約6kg(出典：温室効果ガスインベントリオフィス)であることから、約1,109人が1日に排出するCO<sub>2</sub>の排出削減効果が得られたこととなります。

### 4 取組総括

- ・今回の取組から、エコ通勤によるCO<sub>2</sub>等の削減量に加え、各事業所等でのエコ通勤への参加状況について報告を受けました。
- ・一部の事業所を除き、多くの事業所で調査票の提出者数(参加者数)が低調でした。
- ・エコ通勤率が85%以上となった事業所等は、北海道銀行旭川支店の1事業所のみで、50%以上も8事業所(民間事業所等6, 市役所各部局2)等に留まりました。
- ・CO<sub>2</sub>削減量は、規模の大きい事業所の方が多くなりやすいですが、小規模な事業所でも多くの従業員が参加することにより一定の成果を上げています。
- ・エコ通勤率が低くなってしまう場合でも、エコ通勤が可能な日に限って自転車や公共交通機関で通勤することで、多くのCO<sub>2</sub>削減につながります。
- ・職場の立地や勤務形態により毎日エコ通勤することは困難な場合もありますが、1日でもエコ通勤を実施し、実施結果を報告することで、地球温暖化について考えるきっかけになることが期待されます。
- ・エコ通勤は、地球温暖化対策に加え、健康維持・増進の面でも効果的です。引き続き積極的な取組をよろしくお願いいたします。